



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 J-三光産業

コード番号 7922 URL <http://www.sankosangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 遠藤 幹雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理担当

(氏名) 高橋 光弘

TEL 03-3403-8134

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,400	△10.5	△181	—	△181	—	116	—
28年3月期第2四半期	4,917	10.5	△125	—	△93	—	△93	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 15百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △44百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	18.85	—
28年3月期第2四半期	△15.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第2四半期	11,120	8,330	73.8
28年3月期	10,837	8,358	75.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 8,201百万円 28年3月期 8,212百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	1.7	75	—	100	—	380	—	61.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	7,378,800 株	28年3月期	7,378,800 株
29年3月期2Q	1,185,791 株	28年3月期	1,185,791 株
29年3月期2Q	6,193,009 株	28年3月期2Q	6,193,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策を背景に企業収益や雇用情勢に改善が見られ、緩やかな回復基調にありましたが、中国をはじめとする新興国経済の減速、英国のEU離脱問題等による円高の進行などから、先行き不透明感が増しております。

印刷業界におきましては、印刷需要の減少傾向のなか、受注競争激化による単価の下落等により、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと当社グループは、平成28年度経営方針に基づき、グループ一丸となって、業績回復に向けて取り組んでまいりましたが、中国、アセアンにおける海外子会社の受注高が低調であったため、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高は4,400百万円（前年同期比89.5%）と減収となりました。利益面につきましては、売上高の減少に加え、タッチパネル製品の歩留率の悪化や人件費の増加による売上原価率の上昇により、営業損失は181百万円（前年同期は125百万円の営業損失）、受取配当金等の計上はありましたが、為替差損等の発生により、経常損失は181百万円（前年同期は93百万円の経常損失）となりました。しかしながら、方南工場跡地等の売却により、固定資産売却益を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する四半期純利益は116百万円（前年同期は93百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。なお、前連結会計年度より、従来「マレーシア」としておりました報告セグメントの名称を「アセアン」に変更しております。

## ① 日本

国内事業につきましては、タッチパネル製品及び一般シール・ラベル等の安定的受注確保を目指し、既存得意先の掘り起こしと新業種・新業界への積極的な営業展開を行っております。また、製造部門につきましては、長野工場の生産効率の向上、川越工場の最新鋭設備の稼働確保のための内製化を進めております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,415百万円（前年同期比109.7%）となりましたが、タッチパネル製品の歩留率の悪化等により、セグメント損失は68百万円（前年同期は85百万円のセグメント利益）となりました。なお、日本に所属する連結子会社は、三光プリンティング株式会社であります。

## ② 中国

日本国内に新設された海外統括室との情報の共有化を深め、受注活動の強化を図るとともに、製造面につきましては、稼働率・生産効率の向上、徹底した経費の削減等を行っておりますが、当第2四半期連結累計期間の売上高は762百万円（前年同期比49.7%）、セグメント損失は84百万円（前年同期は125百万円のセグメント損失）となりました。なお、中国に所属する連結子会社は、光華産業有限公司及び燦光電子(深圳)有限公司であります。

## ③ アセアン

サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. については、徹底したコスト削減を行い、また、日本等からの営業面・製造面における支援体制により、業績は好転しております。しかしながら、昨年5月にタイ王国（バンコク都）に設立いたしましたサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. は、国内外の支援を受け、早期に会社目標の売上・利益を達成すべく取り組んでおりますが、事業展開の遅れにより本格操業が下期にずれ込んだため、当初計画に対して未達となっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は222百万円（前年同期比82.6%）、セグメント損失は31百万円（前年同期は52百万円のセグメント損失）となりました。なお、アセアンに所属する連結子会社は、サンコウサンギョウ（マレーシア）SDN. BHD. 及びサンコウサンギョウ（バンコク）CO., LTD. であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は11,120百万円となり、前連結会計年度末比282百万円増加いたしました。これは、主に土地等の売却により有形固定資産は488百万円減少いたしました。現金及び預金が388百万円、受取手形及び売掛金が244百万円、製品、原材料等のたな卸資産が137百万円増加したことによるものであります。

負債総額は2,789百万円となり、前連結会計年度末比310百万円増加いたしました。これは、主に支払手形及び買掛金が329百万円増加したことによるものであります。

また、純資産額は8,330百万円となり、前連結会計年度末比28百万円減少いたしました。主たる要因は、利益剰余金は73百万円増加いたしました。その他の包括利益累計額が84百万円減少したことによるものであります。この結果、自己資本比率は73.8%（前連結会計年度末は75.8%）となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、有形固定資産の売却による収入等の資金の増加要因によって、3,005百万円（前年同期比658百万円増）となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、税金等調整前四半期純利益147百万円、仕入債務の増加額499百万円等の資金の増加要因はありましたが、売上債権の増加額375百万円、有形固定資産売却益354百万円、たな卸資産の増加額170百万円等の資金の減少要因によって183百万円（前年同期比20百万円増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果獲得した資金は、有価証券の償還による収入100百万円、有形固定資産の売却による収入808百万円等の資金の増加要因により、767百万円（前年同期は693百万円の使用）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、主に配当金の支払額42百万円により44百万円（前年同期比0百万円増）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、現時点で平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（有形固定資産の減価償却方法の変更）

従来、有形固定資産（リース資産を除く）の減価償却方法について主として定率法（ただし、海外連結子会社については定額法）を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より当社の有形固定資産の減価償却方法について定額法に変更いたしました。この変更は、シール・ラベルの国内市場が成熟している現在の環境下において、前連結会計年度に完了した最適生産体制への取り組みにより、国内工場を集約し市場ニーズに適した生産体制を再構築したことを契機としたものであります。

当社グループのシール・ラベル事業の日本国内の需要は緩やかな減少傾向が続いており、この傾向に対処すべく、希望退職の実施等一連の構造改革を実施し、国内における生産効率の向上と原価低減による事業の存続をより確かなものとする施策を進めてまいりました。この取り組みは、前連結会計年度における国内シール工場の統廃合により終了し、今後は外注依頼している受注の取り込み等、内製化の推進により既存生産の維持と操業の安定化が実現する見込みであります。

これを契機に、安定稼働が見込まれる設備の使用実態を適切に反映させるため、第1四半期連結会計期間より当社の有形固定資産の償却方法として従来の定率法から定額法へと変更することがより適切と判断いたしました。

この変更に伴い、従来の方法と比較して、当第2四半期連結累計期間の減価償却費は28,220千円減少したことで、営業損失、経常損失はそれぞれ25,229千円減少し、税金等調整前四半期純利益は25,229千円増加しております。

なお、この変更がセグメント情報に与える影響は、当該箇所に記載しております。

## (4) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,632,791	3,021,087
受取手形及び売掛金	2,981,155	3,225,688
有価証券	201,430	100,614
商品及び製品	361,921	426,523
仕掛品	117,057	119,058
原材料及び貯蔵品	185,336	256,008
その他	108,735	71,928
貸倒引当金	△257	△1,910
流動資産合計	6,588,170	7,218,999
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,137,650	2,730,266
減価償却累計額	△2,068,690	△1,782,775
建物及び構築物 (純額)	1,068,960	947,490
機械装置及び運搬具	2,790,252	2,705,632
減価償却累計額	△2,247,412	△2,177,987
機械装置及び運搬具 (純額)	542,839	527,644
工具、器具及び備品	212,815	201,413
減価償却累計額	△181,954	△171,930
工具、器具及び備品 (純額)	30,860	29,482
土地	1,635,488	1,280,637
リース資産	21,133	27,388
減価償却累計額	△14,481	△16,474
リース資産 (純額)	6,652	10,913
有形固定資産合計	3,284,800	2,796,169
無形固定資産		
ソフトウェア	3,705	3,405
無形固定資産合計	3,705	3,405
投資その他の資産		
その他	1,034,255	1,167,186
貸倒引当金	△73,455	△65,438
投資その他の資産合計	960,799	1,101,748
固定資産合計	4,249,305	3,901,323
資産合計	10,837,476	11,120,323

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,718,531	2,047,990
未払法人税等	9,906	50,627
賞与引当金	107,800	105,542
その他	280,349	197,571
流動負債合計	2,116,588	2,401,732
固定負債		
長期未払金	35,103	33,403
退職給付に係る負債	285,602	276,290
その他	41,675	78,448
固定負債合計	362,380	388,142
負債合計	2,478,969	2,789,874
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,850,750	1,850,750
資本剰余金	2,272,820	2,272,820
利益剰余金	4,849,516	4,922,908
自己株式	△1,013,834	△1,013,834
株主資本合計	7,959,251	8,032,644
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	185,298	259,753
為替換算調整勘定	68,258	△90,639
その他の包括利益累計額合計	253,557	169,113
非支配株主持分	145,697	128,691
純資産合計	8,358,507	8,330,448
負債純資産合計	10,837,476	11,120,323

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	4,917,854	4,400,704
売上原価	4,110,219	3,693,530
売上総利益	807,634	707,173
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	369,945	381,241
賞与引当金繰入額	62,752	71,427
退職給付費用	23,078	22,766
福利厚生費	80,640	80,775
その他	396,450	332,803
販売費及び一般管理費合計	932,866	889,013
営業損失(△)	△125,231	△181,840
営業外収益		
受取利息	2,313	2,385
受取配当金	6,915	9,152
有価証券売却益	23,117	-
貸倒引当金戻入額	3,563	2,559
その他	7,260	8,297
営業外収益合計	43,170	22,395
営業外費用		
賃貸建物減価償却費	264	150
為替差損	10,363	18,342
その他	829	3,458
営業外費用合計	11,457	21,951
経常損失(△)	△93,518	△181,396
特別利益		
固定資産売却益	177	354,636
特別利益合計	177	354,636
特別損失		
固定資産処分損	0	50
投資有価証券評価損	-	25,227
特別損失合計	0	25,277
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△93,340	147,963
法人税、住民税及び事業税	12,100	33,500
法人税等調整額	△1,817	2,793
法人税等合計	10,282	36,293
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103,623	111,670
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,634	△5,073
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△93,989	116,743



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△103,623	111,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	73,477	74,454
為替換算調整勘定	△14,029	△170,831
その他の包括利益合計	59,447	△96,377
四半期包括利益	△44,175	15,292
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16,207	32,299
非支配株主に係る四半期包括利益	△27,967	△17,006

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△93,340	147,963
減価償却費	127,027	71,611
役員退職慰労未払金の増減額(△は減少)	-	△1,700
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△8,301	△9,311
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,489	△1,245
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,512	△6,364
受取利息及び受取配当金	△9,228	△11,538
有形固定資産除売却損益(△は益)	△177	△354,586
投資有価証券評価損益(△は益)	-	25,227
売上債権の増減額(△は増加)	△37,900	△375,826
たな卸資産の増減額(△は増加)	△246,008	△170,382
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△100,856	48,877
仕入債務の増減額(△は減少)	293,334	499,053
未払金の増減額(△は減少)	△48,674	△5,471
その他	△24,770	△49,461
小計	△163,899	△193,156
利息及び配当金の受取額	10,108	12,682
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△8,344	△2,615
営業活動によるキャッシュ・フロー	△162,134	△183,089
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	-	246
有価証券の償還による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	△521,285	△59,995
有形固定資産の売却による収入	177	808,677
投資有価証券の取得による支出	△4,310	△3,929
関係会社株式の取得による支出	△73,290	△9,393
関係会社貸付けによる支出	△100,000	-
保険積立金の積立による支出	-	△50,000
その他	4,766	△17,967
投資活動によるキャッシュ・フロー	△693,941	767,637
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△17	-
配当金の支払額	△42,334	△42,222
その他	△1,790	△2,122
財務活動によるキャッシュ・フロー	△44,143	△44,345
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,875	△150,323
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△917,094	389,878
現金及び現金同等物の期首残高	3,263,898	2,615,878
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,346,803	3,005,756

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,113,431	1,535,191	269,231	4,917,854
セグメント間の内部売上高 又は振替高	920,252	229,829	22,329	1,172,411
計	4,033,683	1,765,020	291,561	6,090,265
セグメント利益又は損失(△)	85,837	△125,753	△52,995	△92,911

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△92,911
セグメント間取引消去	△32,319
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△125,231

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	日本	中国	アセアン	合計
売上高				
外部顧客への売上高	3,415,766	762,605	222,331	4,400,704
セグメント間の内部売上高 又は振替高	330,471	21,708	1,392	353,572
計	3,746,238	784,313	223,724	4,754,277
セグメント損失(△)	△68,652	△84,729	△31,048	△184,430

(注) 当第2四半期連結会計期間において、前連結会計年度の末日と比べ、報告セグメントの資産の金額は、「日本」セグメントにおいて432,222千円減少しております。これは方南工場及び三光プリンティング株式会社板橋工場の工場跡地売却によるものです。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△184,430
セグメント間取引消去	2,590
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△181,840

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(セグメント名称の変更)

タイに連結子会社サンコウサンギョウ(バンコク)CO.,LTD.を設立し、連結の範囲に含めたことに伴い、前第4四半期連結会計期間より従来「マレーシア」と表示しておりました報告セグメントをタイ地域を加えた「アセアン」に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

前第2四半期連結累計期間への影響はセグメント名称の変更のみであります。

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

「会計方針の変更」に記載のとおり、有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定率法(ただし、海外連結子会社については定額法)によっておりましたが、第1四半期連結会計期間より当社において定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間のセグメント損失が、日本セグメントで、25,229千円減少しております。

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。